

2024年度 事業計画書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容		実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) 知的障害者に対するスポーツ事業	① スポーツトレーニングの実施	日常的にスポーツトレーニングプログラムを実施する	日常定常的(年間を通して実施、主に土日)	都内公共施設、オンライン 他	V / 650名	A・P / 920名	9,031
	② スポーツ大会の実施	(主催) 2024年第17回SON・東京夏季地区大会	6月8日、22日、23日、30日	江戸川区スポーツセンター、スピアーズエドリックフィールド、東京ポートボウル、モリパークテニスガーデン	V・S / 90名	A・P / 350名	1,176
	③ スポーツ大会への派遣	2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム	2月10日～12日 2月23日～25日	ピヤシリスキー場(北海道/アルペンスキー) ピックハット(長野県/フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート)	V / 15名	A / 36名	3,303
		第25回東京都障害者スポーツ大会	5月(予定)	東京都内施設	V / 20名	A / 140名	
		SON・埼玉主催 フロアボール交流会	6月1日、2日	毎日興業アリーナ久喜	F・V / 6名	A・P / 25名	
(2) 知的障害者に対するスポーツ指導者の育成事業	① コーチクリニック(認定コーチ養成)	フィギュアスケート	4月13日	江戸川区スポーツランド	V・S / 3名	F・V / 15名	403
		フロアボール	4月(予定)	未定	V・S / 3名	F・V / 15名	
		ボウリング	5月6日	東京ポートボウル	V・S / 3名	F・V / 15名	
		バドミントン	8月(予定)	未定	V・S / 3名	F・V / 15名	
		卓球	9月(予定)	未定	V・S / 3名	F・V / 15名	
		バスケットボール	11月(予定)	未定	V・S / 3名	F・V / 15名	
	② コーチトレーニング(実技)	各スポーツプログラム	随時	東京都内 他	各2～3名	各10名前後	
		ボウリング	8月(予定)	東京ポートボウル	V・F / 2名	F・V / 約20名	
		ショートトラックスピードスケート	10月(予定)	未定	V・F / 2名	F・V / 約20名	
		アルペンスキー	12月(予定)	未定	V / 2～3名	F・V / 約5名	
(3) 知的障害者に対する英会話、合唱、音楽等の文化活動支援事業	① 講座開催事業	文化プログラム講座を実施する	随時	国立オリンピック記念青少年総合センター/スマイル中野/岡本るみ子ハレエスタジオ/他 都内公共施設、オンライン	V / 35名	A / 120名	480
(4) 知的障害者に関する一般社会の理解をより深めるための広報・啓発・普及事業	① webページの開設運営	webページの制作、運営、更新	随時	法人事務所、ボランティア自宅	V・S / 10名	一般対象 不特定多数	3,600
	③ 普及活動	ニュースレター発行 ポスター、チラシ制作	年3回 (4月、8月、12月)	法人事務所、ボランティア自宅	広報委員会 / 8名	A・F・V・一般 10,000名	
		アスリート入会 オリエンテーション	毎月2回	法人事務所	S / 2名	新規入会希望者 100名程度	
		ボランティア説明会	毎月1回	法人事務所	V / 委員会 5名	一般	
		第19回ウォーク&ランフェスティバル	10月	未定	V・S / 約100名	A・一般 / 約250名	
		学校連携プログラム (ファミリー講演会、 フロアホッケープログラム公開授業)	11月(予定)	杉並区立中瀬中学校	A・F・V・S / 25名	同校教師・生徒 150名程度	
		会員管理システム構築・運用	通年	法人事務所	S / 3名	A・F・V 約4,000名	
	④ 啓発活動	ワンハンドレッド倶楽部向け活動 FR委員会クリスマスカード制作	随時 11月	法人事務所	V・S / 19名	一般 (企業・個人)	
⑤ 30周年記念事業	創立30周年記念式典 兼 SON・東京活動紹介/体験会	11月24日	駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場	V・S / 15名	A・F・V・一般 約1,000名		

※A:アスリート、F:ファミリー、P:パートナー、V:ボランティア、S:スタッフ

(2) その他の事業

実施予定なし

2024年度 事業計画書

【事業計画】

委員会名	項目	詳細
スポーツ プログラム		<p>安心・安全なスポーツプログラムの運営を通して、アスリート・ファミリー・ボランティア・パートナーの笑顔を生む発表の機会を作る。</p> <p>「東京都スポーツ推進総合計画」、及び文部科学省「第3期スポーツ基本計画」に基づき、行政や関係諸団体との連携を深めて、インクルージョン社会に向けた取り組みを行っていく。</p>
	活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安心・安全で無理のないプログラムの運営 2. プログラム運営の次代を担う中核ボランティアの開拓・育成に努める 3. プログラム運営についての積極的な情報共有を行う 4. ユニファイドスポーツの啓発・推進 5. 「2024年第8回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム」へ向けた対応
	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. アスリート・パートナーのトレーニングおよび発表の機会を作る 2. 委員会と各プログラム間で相互に情報共有を図る 3. 夏季地区大会の実施 4. 「2024年第8回スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム」選手団派遣
文化 プログラム	活動目標	<p>創立30周年記念イベントで、SOの活動は、スポーツプログラムだけでなく、「文化プログラム」という、アスリートの活動場所がある事を広く伝えていく。</p>
	活動内容	<p>「合唱」、「絵画」、「木彫り」、「Let's Play & Sing」、「バレエ エクササイズ」、「アスリート会」の代表者、委員が、2～3か月毎に集まり、近況報告及び課題を話し合い、解決していく。</p>
ファミリー	活動目標	<p>スペシャルオリンピックス日本・東京の組織の一員としての自覚と参加意識の向上</p>
	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に委員会を開催し、各プログラムのコミュニケーションを図る(情報の共有化) 2. プログラムへ積極的参加の推進 3. SON・東京の組織の一員として活動する 4. SON・東京30周年記念事業への協力
ファンド レイジング	活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 寄付を増加させる手段の多様化に応じた取り組み方法を構築する 2. SON・東京内の各委員会との情報共有および資金調達作業の連携強化を図る
	活動内容	<p>2024年はSON・東京の創立30周年を迎えるに当たり、各委員会、事務局との連携強化を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 寄付企業への働きかけを事務局・理事会と共同で作業 2. ワンハンドレッド倶楽部賛助者の増加対策と交流イベントの開催 3. 30周年記念チャリティコンサート実施への協力 4. 寄付集めのための手段多様化に伴い、担当チーム制を検討 5. IT時代への対応方法の検討と新規寄付獲得手段の模索 6. 講演会などの実施 7. 次代を担う若手委員の活動参加を目指す

委員会名	項目	詳細
総務	活動目標	<p>【安全部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理体制の見直し <p>【広報部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SON・東京の活動をより多くの人に広める 2. 会員への情報伝達をスムーズに行う <p>【地域展開部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全なプログラム実施のため、地域社会とのより強い連携を図る 2. 日頃の練習の成果を発表する場(会場)の確保に努める
	活動内容	<p>【安全部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理マニュアル及び安全チェックカードの見直し 2. 日頃のプログラム活動における安全管理体制の点検実施 <p>【広報部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ニュースレターの作成(年3回) 2. 企業向けメルマガの発行(月1回) 3. Webサイトの更新(随時) 4. 競技会、イベント等での写真撮影 5. Web掲載記事の作成 <p>【地域展開部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SONスポーツプログラム委員会の体制整備に伴った各競技部会の充実に努める 2. 特に競技団体との連携を強化する
ボランティア	活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しいボランティアの開拓。対面でのボランティア説明会を継続。 各回の参加者数は限られているが、着実に新規参加につながっている。 2. ボランティア委員の研修会を対面で開催する。意見交換、経験の共有、勉強会などを通してボランティア委員の知見向上を図る。 3. SON・東京主催イベント・研修等での支援 4. ボランティア委員会:進行中の課題に対応 5. ボランティアの定着と横のつながりを促進する
	活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対面ボランティア説明会と説明会参加者へのフォローアップ。 新参加者に対するプログラム体験や見学の促進と支援。成果も出ているので継続する。 2. 既存のボランティア＝オンラインでのおしゃべり会。新規参加ボランティア＝積極的な関与と支援。オンラインW&R。 3. ボランティア委員の対面での研修会。可能なら、経費を抑制しながら宿泊を伴う合宿形式で開催する。 4. SON・東京の行事支援。 5. ボランティア委員会。対面を継続。 6. オンラインW&R第3回を検討する。チャリティ形式にするメリットはSON・東京への資金面での寄与するが、事務局の負担を最小にするための方策が必要(チャリティ要素なしの単純開催)。